

「2023どんぐり工房カレンダー」販売中

マジックワールド
～テーマは「MAGIC WORLD」～

むかいしま作業所 はんた こうき
むかいしま作業所 半田 滉貴



▲カレンダーの表紙

連絡先：尾道さつき作業所(長島)
TEL0848-23-8004

「2023どんぐり工房カレンダー」が完成しました。今回は尾道さつき作業所やむかいしま作業所で絵画講師をされている石川先生と共同で制作し、「MAGIC WORLD」をテーマに、個性あふれる絵画作品が、皆さまの心を魅了するカレンダーになりました。季節の訪れとともに、どんぐり工房の世界観をお楽しみください。

また、記入しやすいメモ欄や見やすい文字、冠婚葬祭に便利な六曜の表示など、実用性にも優れており、どんぐり工房プロジェクトの活動や施設の紹介も盛り込んでいます。今年も卓上カレンダーとセットで、税込1,000円です。

宅配や郵送も承ります。是非、手に取っていただきカレンダーと共に心豊かな一年をお過ごしください。



▲卓上カレンダーの表紙

さつき SATSUKI

第75号
令和4年11月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

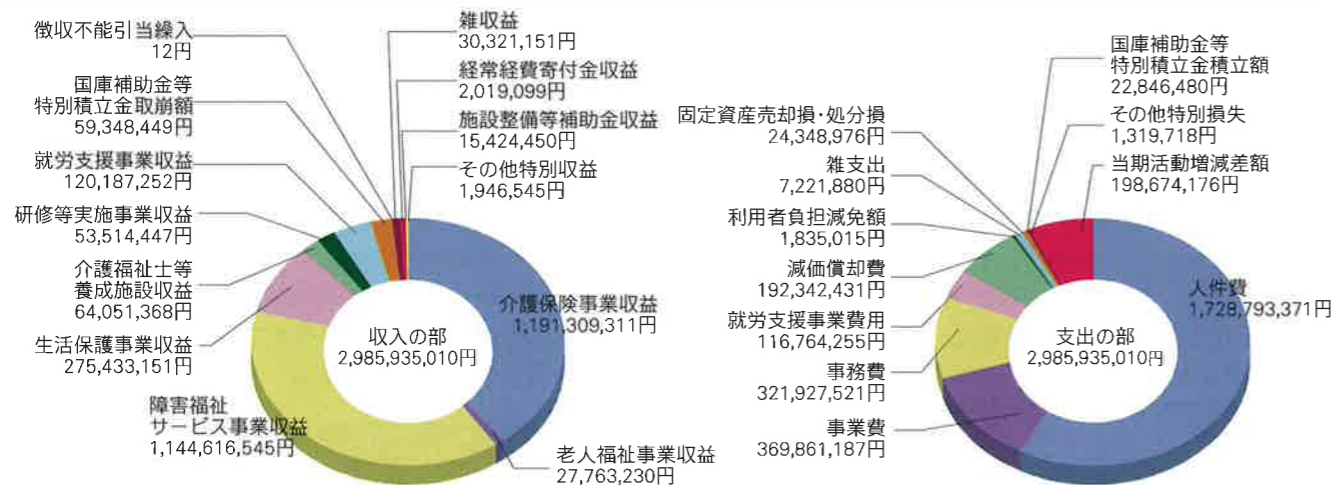
広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com



むかいしま作業所では、利用者さんが感じる思いや尾道の風景などをイメージして「さをり織り」の生地を織り、自主製品を製作しています。「何をイメージして織ろうか」「何色の糸を使おうか」など、さをり織りの作業をいつも楽しみにしています。また、神社のお守り「愛情守」やテディベア作家さんによる新しい商品など、さをり織り商品の幅も広がってきています。

これからも一人一人の感性を大切にしながら、温もりのある商品を皆さまのもとへお届けします。
むかいしま作業所 寄井 裕子

2021年度 尾道さつき会収支状況



*詳細は尾道さつき会ホームページをご覧ください。

寄付者一覧

(2022年5月～8月 順不同・敬称略)

<寄付金> 万福寺仏教婦人会 崎谷 亘 宮地 栄子 國貞 峯子
<寄付物品> 木村 智恵

編集後記

今年も松茸のシーズンがやってまいりました。利用者さんの中には「昔はうちの山にたくさんあって、よく食べていたよ」と話される方もちらほらいらっしや、羨ましい限りです。そして、秋といえばどんぐり工房カレンダー販売の時期です！是非一度、お手にとってご覧ください。 Y.S

福祉・介護の魅力発信イベント「カイゴのガッコウ」マルシェに、すだちの家がほうれん草とパンを出品します。



75号の topics

- 機能訓練
- 七夕飾り
- アート療法
- カレンダー販売
- シリーズ 新人紹介
- さつき会収支報告
- 広島県民体操
- 法人本部・公益分野
- 高齢者分野
- 障害児・者分野
- シリーズ

食事姿勢の改善で食欲増進 ～暮らしを支える取り組み～

地域密着型特別養護老人ホーム星の里 いしはら ゆう 石原 侑

地域密着型特別養護老人ホーム星の里では、機能訓練委員と理学療法士を中心に、入居者さんの身体機能の維持、改善に取り組んでいます。

身体が左に傾く入居者さんが、食事の際に「息をするのもしんどい、ご飯が食べられない」と訴えられていました。そこで、食事姿勢の改善策として、身体の緊張感を軽減するためベッドから起き上がる前に体幹を左右対称にし、20分間仰臥位の保持を続けると、約1ヶ月間で身体の傾きが減り、「食事が美味しいね」「おにぎりにしてみても」「混ぜご飯にしてみても」と言われ食欲が増進しました。身体機能の維持、改善を通して意欲や生活の質の向上につながるよう取り組んでいます。

取り組む前の食事姿勢



離床前に
きょうがい
仰臥位にして
体位を保持する

取り組んだ後の食事姿勢



「ありのままの心」をアートに表現 ～心と体のリラックス～

まきはら あみ 尾道さつき作業所 横原 吾美

尾道さつき作業所では、4月から月に2回アート療法の活動を行っています。アート療法は、絵を描くだけではなく塗り絵や造形といったさまざまなアートを通じて、自分の心を開放することをねらいとしています。「ありのままの心」をアートに表現することで、自分の本当の気持ちに気づき、モヤモヤした心をスッキリさせることにつながります。

指絵の具では、最初は指先だけで慎重に描いていた利用者さんも、手のひら全体に絵の具を付けたことをきっかけにどんどん動きが大胆になり、多くの線や形を表現していました。色とりどりの絵の具を前に、直感で手に取る人、じっくり悩んで選ぶ人など、色選びでも個性がみられます。

活動に参加している利用者さんからは「楽しい」という声があり、講師の段上先生からは「活動を通してリラックスし、どんどん『自分』を素直に表現できる時間になっている」と話がありました。職員も、講師の方が作品ごとに心理状態を読み取り、分析された内容を知ることによって新たな発見につながっています。



▲指絵の具で自己表現をする利用者さん



▲セラピー塗り絵をする利用者さん(右)と段上先生

新人職員紹介

児童発達支援センターあいあい



よしだ あい
吉田 安唯 さん

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。
大学で児童福祉を学んでいく中で、発達に課題を持つ子どもやそのご家族への支援に携わりたいと強く思うようになり、この仕事に就きました。子どもたちに毎日元気をもらいながら、そして、子どもとご家族と同じ視点に立ちながら、誰もが自分らしく笑顔で日々を送れるように寄り添っていきたいです。

Q2 趣味、隠れた特技は？
趣味は、映画やドラマを見ることです。ヒューマン映画やホラー、ミステリーなどが特に好きです。大きなプロジェクターを買って、映画館のように部屋を暗くして見たいというのが今の理想です。



すこ ゆうき
須子 優稀 さん

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください。
子どもと関わる仕事がしたいと感じていた時に、大学で児童発達支援センターへ実習に行ったことがきっかけです。一緒に楽しみながら、子どもたちのいろんな可能性をご家族と一緒に育んでいきたいと思っています。子どもたちのパワフルさに負けないように、元気いっぱい頑張ります。

Q2 趣味、隠れた特技は？
学生時代は、二輪の免許を取っていたので、バイクに乗ることが趣味でした。今は、バイクには乗っていないので、車で遠出をして海や夜景を見に行くことが趣味です。

新しく購入したテレビを活用して

デイサービスセンター星の里 高田 美保

デイサービスセンター星の里では、コロナ禍の自粛で、大人数でのレクリエーションを行いにくいと、新しく購入した大画面のテレビを活用し「広島県民体操」を始めました。動きの説明が親しみやすい広島弁なので楽しく体操しており、利用者さんからは「体操をして帰るようになって、よく眠れてうれしいよ」と好評です。椅子に座って過ごす時間が長いので、今後も帰宅前に体を動かし、血行の改善を図っていきます。



▲県民体操をして今日も元気に

七夕飾りで達成感

星の里・久保の家 村上 隼斗

久保の家では、尾道本通り七夕まつりに参加しました。コロナ禍のため3年ぶりの開催でした。ボランティアの方との交流や外出行事の機会が減少しているなか、みんなで七夕まつりに行くことを目標に、制作に取り組みました。



▲みんなで制作した七夕飾り

商店街に飾られた七夕飾りを見て「私らが作った飾りじゃ、一番いい!」と達成感を口にされる利用者さんもいました。

これからも地域社会との繋がりを大切にしながら、楽しんでいただけるような行事を企画していきたいと考えています。



▲認知症対応型の
デイサービスを
紹介した動画です